

新たな出会いの中で

本年度、校長として赴任した鈴木悟志です。こうして西部中学校のみなさんとその保護者のみなさんに出会うことができたのも大切なご縁だと感じています。生徒一人一人の成長のため、精一杯尽力いたします。

西部中学校は、新入生56名を迎え、全校生徒171名で令和2年度が始まります。校訓「剛健・創造・自律」の言葉が示すように、次のような生徒像の育成を目指しています。

- ・心身共にたくましい生徒
- ・多様な人々と協働し、新たな価値を創造する生徒
- ・自他の個性を尊重し、自らを律する生徒

子供たちが大人になる頃には、予測できない問題、答えがない課題に立ち向かわなければならない場面が必ずあります。すでに、新型コロナウイルス感染症については予測できないことの連続です。

こうした未来を明るくたくましく生き抜くために、中学校生活の中で心と体を鍛え、困難を乗り越えたり、落ち込んでも気持ちを切り替えて挑戦し続けたりできる力を高めていってほしいと願っています。

そのためには、立場や考え方が違う仲間との協力が必要です。自分一人ではできないことも、個性が違う仲間が集まって力を合わせることでさまざまなアイデアが生まれてきます。そして、仲間と協力するためには、自分のよさや個性を自覚することが大切です。仲間の中にいながら自分の考えをしっかりともち、仲間のよさと自分のよさを組み合わせることができれば、大きな力となっていきます。「剛健・創造・自律」を身につけた人に育ててほしいと願っています。

西部中学校長 鈴木 悟志